

大阪大学大学院 薬学研究科 細胞生理学分野 神宮司 健太郎
「癌組織由来細胞外小胞に対するヒト抗体の癌診断・治療への応用」

これまでに、大腸癌術後組織より直接放出される細胞外小胞(Te-EVs: tissue-exudative extracellular vesicles)を用いた解析より、正常大腸組織 Te-EVs と比べ大腸癌組織 Te-EVs では抗腫瘍免疫を攪乱し、腫瘍優位へと誘導していることが明らかになってきた。そこで、大腸癌組織由来 Te-EVs 特異的に結合する抗体は、新たな機序による腫瘍免疫誘導に繋がる細胞外小胞を標的とした創薬が期待できる。本研究は、大腸癌とともに胃癌、卵巣癌、膵癌の Te-EVs に対する抗体を取得し、癌のリキッドバイオプシー診断薬の作製と、EVs を標的とする抗体医薬の創製を展開することを目的とする。